

床に親しみながらのんびり出来る和室の床暖房は画期的です。日だまり心地良さを一日中味わえる暖房畳で本を読みながらくつろぐ豊原ミツ子さん。「肌にやさしい畳が、年配の方はウレシイでしょうね」タイマーをセットしておけば、自動的にスイッチON。全室暖房（6畳）と、部分暖房（2畳）に切り換えられます。ミニキッチンが備えあり、オール電化の、お年寄り専用の部屋は、安全で健康的なことが一番です。



オール電化だから、 家じゅうどこでも暖かい。

暖房は、万全ですか？オール電化の住まいは、家中がポッカポカで暖かい。安全でクリーンでスマートな電気を使った暖房は、お年寄りや赤ちゃんのいる家庭にもピッタリです。

エレクトピア体験者
豊原ミツ子

タレント

昭和13年東京生まれ。慶応大学卒業後、フジテレビのアナウンサーとして入社。その後フリーになり、現在、TBSテレビの「森本ワイド・モーニングEYE」での体当たりレポート「豊原ミツ子のやるっきゃない」が茶の間で人気。この体験をもとにした同名の本を、この11月に出版。その他著書に、ベストセラーとなり、テレビドラマ化された「わたしの姑ばなれ」や、近刊の「人間、様かやなんねがある。

寒さも本格的になって来ました。

朝晩の冷え込みは、お年寄りにはいちだんと厳しく感じられることでしょう。

お年寄りと同居の家庭は、少なからず住まいの工夫が必要となり、特に冬場の暖房にも気配りをなさっていることでしょうね。

暖かさだけでなく、安全であること、空気を汚さない様な暖房設備が何より一番、ということになるわけです。そういう「人にやさしい」暖房の代表選手といえば、注目の床暖房なのです。

エレクトピアIIには畳の床暖房があり、とても画期的。お年寄りとの暮らし方では経験豊富な豊原ミツ子さんに体験していただいたら、「実に快適ですね。足元からポカポカと自然に暖まる感じがいいですね。陽あたりの良い場所をお年寄りの部屋にしてあげたいと思っても、住宅事情によっては難しいことが多いわけですが、これなら、一日中陽だまりでカンジの部屋が実現されますね」という意見が返って来ました。

核家族が進んで、オバアちゃんのある家庭が減っていますが、「やはり自分の親が老いて来たら、そばに居て、何かと世話をしてあげないと心配」と、考える豊原さんは、現在御自分のお母様と同居していらつしやいます。以前は御主人のお母様も一緒、という時期もあったそうで、お年寄りの気持はよく理解してい